

# 子どもたちのために できること

～性暴力被害を受けた子どもの理解と支援～

子どもと関わりのある大人のみなさまへ

あなたは悪くない  
あなたはひとりじゃない  
と伝えて

ひとりで抱え込まず  
相談機関等に相談を

- ☑ 子どもの性暴力被害はめずらしいことではありません。
- ☑ 子どもが性被害を自ら打ち明けるのは勇気のいることです。
- ☑ 子どもから被害を打ち明けられたときは、子どもの気持ちをよく聴いてあげてください。
- ☑ 子どものケアをひとりで抱え込まずに、相談機関等のサポートを受けながら、無理のないよう子どもの回復を支えてください。



## 性暴力とは？

**性暴力は同意のない・対等でない強要された性的な行為です**

相手がどんな人でも（恋人・家族・親族など）、同性でも異性でも、どのような状況でも、**本人が望まない性的な行為は、人権と尊厳を傷つける暴力**です。

<性暴力被害例>

- ・身近な大人からの性暴力
- ・子ども間、きょうだい間の性暴力
- ・アルバイト等を通じた性暴力  
（AV出演強要、JKビジネス）
- ・交際相手からの性暴力（デートDV）
- ・インターネット（SNS）を媒介とした性暴力 など

△ 被害者のほぼ半数が  
10代・10歳未満の時に  
被害にあっています。

△ 身近な人からの被害の  
割合が高いです。



## 子どもの性暴力被害は気づきにくい

### ✓ 被害の特徴

- ・人目につかないところで行われている。
- ・外傷が残る暴力と異なり、目に見える証拠が残りにくい。
- ・されている（受けている）行為が被害だという認識が子ども自身にない。
- ・保護者や知り合いからの被害は、子ども自身が被害を隠そうとする。
- ・被害をうまく話せないため理解してもらえない。

### ✓ 被害を打ち明けにくい

- ・何が起こったんだろう。（何をされたか分からない…）
- ・恥ずかしくて誰にも言えない。
- ・話したら怒られるかも。
- ・自分が悪かったのかも。
- ・自分さえ我慢すればいいんだ。
- ・早く忘れたい、もう考えたくもない。



### ✓ 性被害に性別は関係ありません

- ・女子、男子、性的マイノリティなど性別に関係なく性被害にあいます。
- ・子どもの場合、性的な「遊び」や「いたずら」と軽視されることがありますが、心身の傷は深く、その後の成長に大きく影響を与えます。

# ★子どもの異変や SOS に早期に気づくことが重要です★



被害による動揺や傷つきから、**心や体、行動面**で変化が起こります。

## ⚠ 具体的な症状

子どものサインを見逃さないでください。

### ☑ 身体の反応

- 体調不良（頭痛、腹痛、吐き気、発熱、倦怠感など）
- 食欲がない、過食
- 不眠  
（夜更かし、こわい夢を見る、何度も目が覚める、よく眠れない）
- 性器の痛みやかゆみ、違和感をうったえる
- おねしょをするようになった
- 頻繁にトイレに行くようになった



### ☑ 心の反応

- 落ち着きがなく、イライラしている、情緒不安定
- ふさぎこむ、元気がない、無気力
- 集中力がなくなる



### ☑ 行動面の反応

- 急な赤ちゃん返りをする
- 大人にまわりつくようになった
- 学校の成績が落ちる
- 性的な言動が目立つ
- 自傷行為、万引きなどの問題行動を起こすようになった



## 被害を受けた子どもへの対応

### 子どもの様子がおかしいと感じたら…

子どもの性暴力被害は、身近な大人でさえ気づくことができずに、被害が水面下で深刻化し、長期化することがあります。

早く被害に気づき、適切な対応を取ることが被害を受けた子どもの心身の回復を大きく助けます。

性暴力被害が隠れているかもしれないと思ったら、相談機関や医療機関に相談してください。

### 子どもから被害を打ち明けられたら…

話してくれて  
ありがとう

#### 子どもの話をよく聴いてあげてください。

何をしたらよいか、なんて言ったらいいのか悩むこともあるでしょう。

被害にあった子どもに対して身近な大人ができることは、話をよく聴いてあげることです。子どもたちが被害を打ち明けることはとても勇気がいることです。

「よく話してくれたね」と励ましてください。

子どもの話を遮らず、穏やかに聴いてください。

子どもの話をしっかり受け止め、気持ちをていねいに聴いてください。

#### 聞きすぎないでください。

被害にあうと頭が混乱したり、記憶があやふやだったりしてきちんと説明できないことがあります。

誰に何をされたか、簡潔に聞きましょう。

話をしたくなさそうなときは無理に聞き出そうとしないでください。

専門家でない人が聞き出そうとすると、子どもの傷口を広げてしまいます。

専門機関に相談してください。

## ✓ 子どもの話を信じてください。

100%味方だと  
伝えてください

子どもが被害にあったという事実は受け入れがたく、  
信じたくないと思われるでしょう。

しかし、被害を防ぐことができなかったとしても、被害を受けた子どもには  
何の落ち度もありません。子どもが被害にあった事実を受け止め、子どもが悪い  
のではないことをわかってください。

子どもの話を頭から否定しないでください。

NGワード例



「うそでしょう」「本当なの?」「信じられない!」

## ✓ 子どもを責めないでください。

あなたは  
悪くないよ

悪いのは加害者であり被害者ではありません。

性暴力は、被害者が断りにくく、逃げにくい状況で起こります。恐怖や混乱  
から大声を出せなかったり、その場から逃げられなかったりします。

怒りや悲しみの気持ちを子どもにぶつけないようにしましょう。

NGワード例



「どうして逃げなかったの」「どうしてついて行ったの」  
「どうしてすぐに言わなかったの」

## ✓ 子どもに必要なケアを受けさせてください。

無かったことに  
しないでください

恥ずかしい、周囲に知られたくないと思うかもしれません。

しかし、子どもにとっては忘れられるものではなく、被害を隠そうとしたり、  
無かったことにすると、子どもは必要なケアを受けることができません。相談  
機関や医療機関につなぐことは、子どもの心身の回復につながります。

NGワード例



「他の人に話さないで」「早く忘れなさい」

## ✓ 子どものケアをひとりで抱え込まないでください。

子どもへの対応に悩んだり、大人自身も傷ついたり、体調を崩すことがあります。

子どものケアをひとりで抱え込まないで、相談機関や医療機関に相談してく  
ださい。

サポートを受けながら、無理のないように子どもの回復を支えてください。

# 子どもたちに自分のからだ 大切なものであることを伝えてください

## ☑ 「プライベートゾーン」って知ってる？

プライベートゾーンというのは、水着でかくれる部分とお口など「自分だけの大切な場所」です。

そこは、他の人に見せたり、さわらせたりしてはいけません。

他の人から「見せて」とか「さわらせて」などと言われたら「イヤ！」と言いましょ。



もし誰かに「プライベートゾーン」をさわられそうになったら…

イヤ！

「イヤ」と言おう。  
がんばって気持ちを  
言葉にしよう。

相手が大好きな人でも「イヤだな」「こわいな」と思ったら「イヤ」と言っても大丈夫。

にげる！

とにかく  
「逃げよう！」

プライベートゾーンをさわられそうになったら、その場から走って逃げよう。  
とにかく相手から離れよう。

はなす

ひとりでなやまず  
「相談しよう！」

話をするには勇気のいることだけど、あなたの言うことを信じてくれる大人の人に思いきって話してみよう。

いちばん大切なのは、あなたの気持ち  
あなたが「イヤ」だと感じる気持ち、まちがってないよ

# とちエール

はやくワンストップ  
全国共通短縮ダイヤル **#8891**

電話相談・来所相談（栃木県済生会宇都宮病院内）

月曜日から金曜日 9:00～17:30

土曜日 9:00～12:30

※第2土曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く

※時間外・休日は、コールセンターにつながり相談できます。

※来所相談を希望される場合も、まずはお電話ください。

## とちエールの相談実績から みる被害の現状

### ◆ 相談件数（R3.4.1～R6.3.31）

区分	R3	R4	R5
電話相談	787	1,043	823
来所相談	168	163	138
計	955	1,206	961

### ◆ 被害時年代（n=1,184人）

10代以下でほぼ半数を占め、20代以下の若い世代で7割を超えています。

### ◆ 加害者との関係



- とちエールは、性犯罪・性暴力被害にあわれた方を総合的に支援するための相談窓口です。
- 性別・年齢にかかわらず、どなたでも安心して相談してください。相談は無料です。秘密は必ず守ります。
- 家族や知人からの相談も可能です。
- とちエールでは、被害者の意思を尊重しながらニーズに応じた医療機関・関係機関と連携・協力し、少しでも早く心身が回復するように、必要な支援を行います。

## 支 援 内 容

- ◆ 医療的支援：産婦人科医等への連絡・受診
- ◆ 捜査関連支援：警察への申告等（本人の意向を尊重）
- ◆ 心理的支援：相談、カウンセリング等
- ◆ 法的支援：弁護士による法律相談等
- ◆ 生活・その他の支援：付添いなど必要な支援

※全国共通短縮ダイヤルは通話料無料です。NTT ひかり電話からは、フリーダイヤル0120-8891-77にお電話ください。

※一部のIP電話からはつながりません。上記電話が繋がらない場合等は、とちエール相談専用ダイヤル028-678-8200（ハートにおうえん）に直接お電話ください。（通話料がかかります。）

# ☎ 相談機関一覧 ☎

困ったときは相談しましょう。いろいろな相談機関があります。

## ◆とちぎ性暴力被害者サポートセンター（とちエール）

☎ 全国共通短縮ダイヤル <sup>はやくワンストップ</sup> #8891 (NTT ひかり電話からは 0120-8891-77)

月曜日から金曜日 9:00～17:30

土曜日 9:00～12:30

※第2土曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く

※時間外・休日は、コールセンターにつながり相談できます。

※来所相談を希望される場合も、まずはお電話ください。

## ◆困難を抱える女性 LINE 相談@とちぎ

火曜日・土曜日 15:00～22:00

（対象：栃木県内に在住の日常生活又は社会生活を円滑に営む上で

困難な問題を抱える女性（そのおそれのある女性を含む。））

💬 チャット相談：<https://lin.ee/inKys5f>



## ◆栃木県内各児童相談所

月曜日から金曜日 8:30～17:15（祝日及び年末年始を除く）

・中央児童相談所 ☎ 028-665-7830

・県南児童相談所 ☎ 0282-24-6121

・県北児童相談所 ☎ 0287-36-1058

子どもを監護する人からの  
性暴力は性虐待です。

## ◆栃木県警察本部

・性犯罪被害相談電話 <sup>ハートさん</sup> ☎ #8103 (0120-363-339)

・県民相談室 ☎ #9110 (028-627-9110)

・ヤングテレホン ☎ 0120-87-4152

月曜日から金曜日 9:00～16:00（祝日及び年末年始を除く）

## ◆公益社団法人被害者支援センターとちぎ ☎ 028-643-3940

月曜日から金曜日 10:00～16:00（祝日及び年末年始を除く）

## ◆チャイルドラインとちぎ ☎ 0120-99-7777

毎日 16:00～21:00（年末年始を除く）

💬 チャット相談：<https://childline.or.jp/chat>



## ◆「Cure Time(キュアタイム)」(内閣府によるチャット相談事業)

毎日 17:00～21:00

💬 チャット相談：<https://curetime.jp/>



◀ 詳しくはコチラをご覧ください。（性暴力被害者支援に関する栃木県 HP）